



令和6年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年8月10日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員社長室長 (氏名) 山田 秀樹

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	20,769	7.4	591	28.4	609	28.1	501	65.1
5年3月期第1四半期	19,341	7.9	460	0.7	475	1.2	303	2.8

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 508百万円 (98.7%) 5年3月期第1四半期 256百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	53.28	
5年3月期第1四半期	32.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第1四半期	22,365	9,516	42.6	1,010.91
5年3月期	22,016	9,073	41.2	963.84

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 9,516百万円 5年3月期 9,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		7.00		7.00	14.00
6年3月期					
6年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	7.0	880	35.4	918	33.4	711	76.8	75.53
通期	82,600	6.3	1,426	26.3	1,513	22.2	1,092	204.9	116.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(令和5年8月10日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期1Q	10,833,000 株	5年3月期	10,833,000 株
期末自己株式数	6年3月期1Q	1,419,327 株	5年3月期	1,419,227 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期1Q	9,413,741 株	5年3月期1Q	9,413,773 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症は収束を迎えつつあり、人流の回復に伴い経済活動及び社会活動は正常化に向かいました。一方、不安定な国際情勢を背景としたエネルギー資源や原材料価格の高騰から物価は上昇し、実質賃金の減少による節約志向の高まりなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、業種・業態の垣根を越えた競争が激化する中、原材料の調達価格や物流費、光熱費や人件費といった各種コストの増加など厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、創業60周年を迎える当社は、基本理念としての食の「安全・安心」に取り組むとともに『IDEA & INNOVATIONで、新たな価値をつくる』を中期経営計画のテーマに掲げ、お客様に提供する商品やサービスの質を高め、また、自社ECアプリの使いやすさの追求とコンテンツの拡充による会員数の増加を図ることにより、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は207億69百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は5億91百万円（前年同期比28.4%増）、経常利益は6億9百万円（前年同期比28.1%増）となりました。また、株式会社ヨシケイ両毛の子会社化に伴い特別利益（負ののれん発生益）を1億4百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億1百万円（前年同期比65.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、旬の食材や「母の日」といった季節や催事にあわせた期間限定商品の積極的な投入と、競合店対策として週末のインスタプロモーションを強化し、販促活動に注力してまいりました。また、利益面につきましては、原材料価格や物流費の高騰などを受けて、粗利益率の改善や諸経費の見直しによる経費削減などに取り組ましました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は64億48百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は2億23百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、当社グループ独自の販売企画として季節や時期にあわせた売場づくりに取り組んだほか、フランチャイザーによる商品プレゼンテーションを受けることにより商品知識の向上に努め、ブランド商品の拡販に取り組ましました。

また、地域のお祭りやイベントなどが再開されたことにより業者向けの需要が大きく回復し、一般のお客様についてのご利用も増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は108億22百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益は4億16百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、外食や中食利用といった喫食者ニーズが多様化したことに対し、様々な商品を取り揃えることで販売食数の増加に努めました。また、原材料価格の高騰が続いていることを踏まえ、生産効率の向上やコスト削減を図るとともに、販売価格の見直しにも努めました。

惣菜等の受託製造を行っている千葉工場につきましては、試験販売を含め粗利益の高いアイテムの販売数が増加し、セグメント利益を大きく押し上げる要因となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は23億9百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は1億31百万円（前年同期比102.6%増）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、管理栄養士監修のもと開発したメニューが毎日の食事提供のサービス向上に繋がることと、必要な食材のみお届けするためコスト管理が容易であることから受託件数は順調に増加しました。しかしながら、主力である一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」につきましては、販促チラシのポスティングとWeb広告による宣伝活動に注力するものの、新規顧客の獲得が伸び悩んだことなどにより売上高は前年を割り込みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は10億90百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は3百万円（前年同期比88.7%減）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、春の大型連休以後は観光需要が高まり、シニア層や旅行代理店の送客による昼食利用は回復基調となりました。また、運営面におきましては、経済回復の歩調にあわせて販売促進活動を再開いたしましたが、外食需要も含めコロナ禍以前までの回復には至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は97百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント損失は17百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億48百万円増加し、223億65百万円となりました。これは主に、流動資産の「その他」に含まれる前払費用が1億75百万円、商品が1億55百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、128億48百万円となりました。これは主に、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が1億81百万円増加するものの、長期借入金が1億84百万円、賞与引当金が1億38百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億42百万円増加し、95億16百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億35百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し、42.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、令和5年5月12日に公表しました令和6年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日（令和5年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,506,056	3,635,137
売掛金	2,539,343	2,518,604
商品	2,255,214	2,410,899
原材料及び貯蔵品	195,338	192,916
その他	505,472	673,911
貸倒引当金	△1,733	△908
流動資産合計	8,999,692	9,430,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,602,854	5,565,757
土地	3,123,210	3,172,533
その他(純額)	1,282,374	1,220,391
有形固定資産合計	10,008,440	9,958,681
無形固定資産		
のれん	16,698	15,583
その他	246,937	242,704
無形固定資産合計	263,635	258,287
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	29,739	28,712
その他	2,717,068	2,690,878
貸倒引当金	△1,945	△1,953
投資その他の資産合計	2,744,862	2,717,638
固定資産合計	13,016,938	12,934,607
資産合計	22,016,630	22,365,168
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,296,016	4,394,934
短期借入金	945,702	880,308
未払法人税等	204,754	153,099
賞与引当金	238,129	99,362
資産除去債務	6,258	6,289
その他	1,946,212	2,224,764
流動負債合計	7,637,074	7,758,759
固定負債		
長期借入金	3,274,200	3,089,748
リース債務	593,626	530,962
退職給付に係る負債	1,393	27,002
役員退職慰労引当金	165,900	171,140
資産除去債務	917,466	920,349
その他	353,557	350,797
固定負債合計	5,306,143	5,090,000
負債合計	12,943,218	12,848,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	8,687,742	9,123,379
自己株式	△1,169,721	△1,169,816
株主資本合計	8,686,513	9,122,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	405,024	409,586
退職給付に係る調整累計額	△18,125	△15,231
その他の包括利益累計額合計	386,899	394,355
純資産合計	9,073,412	9,516,408
負債純資産合計	22,016,630	22,365,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	19,341,891	20,769,345
売上原価	14,963,413	16,075,980
売上総利益	4,378,477	4,693,365
販売費及び一般管理費	3,917,795	4,101,941
営業利益	460,682	591,424
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
受取家賃	8,753	10,508
その他	22,915	32,472
営業外収益合計	31,672	42,984
営業外費用		
支払利息	5,538	6,124
障害者雇用納付金	9,350	10,475
その他	1,493	8,152
営業外費用合計	16,382	24,751
経常利益	475,972	609,657
特別利益		
負ののれん発生益	—	104,857
特別利益合計	—	104,857
特別損失		
固定資産除却損	782	1,468
賃貸借契約解約損	—	2,819
災害による損失	1,273	—
特別損失合計	2,055	4,288
税金等調整前四半期純利益	473,916	710,227
法人税、住民税及び事業税	89,358	148,148
法人税等調整額	80,735	60,545
法人税等合計	170,094	208,694
四半期純利益	303,822	501,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	303,822	501,532

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	303,822	501,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,076	4,562
退職給付に係る調整額	2,466	2,893
その他の包括利益合計	△47,609	7,455
四半期包括利益	256,212	508,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,212	508,988
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,183,490	9,770,739	2,172,379	1,113,590	101,691	19,341,891	—	19,341,891
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	252	1,568	98,329	—	472	100,623	△100,623	—
計	6,183,743	9,772,307	2,270,708	1,113,590	102,164	19,442,514	△100,623	19,341,891
セグメント利益又 は損失(△)	183,540	348,623	64,764	30,544	△12,796	614,676	△153,994	460,682

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,994千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△150,632千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,448,969	10,822,083	2,309,857	1,090,503	97,931	20,769,345	—	20,769,345
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	318	296	133,224	—	1,447	135,287	△135,287	—
計	6,449,288	10,822,379	2,443,082	1,090,503	99,379	20,904,633	△135,287	20,769,345
セグメント利益又 は損失(△)	223,099	416,672	131,214	3,449	△17,102	757,333	△165,909	591,424

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△165,909千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,107千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

「食材宅配事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に株式会社ヨシケイ両毛の株式を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益104,857千円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。